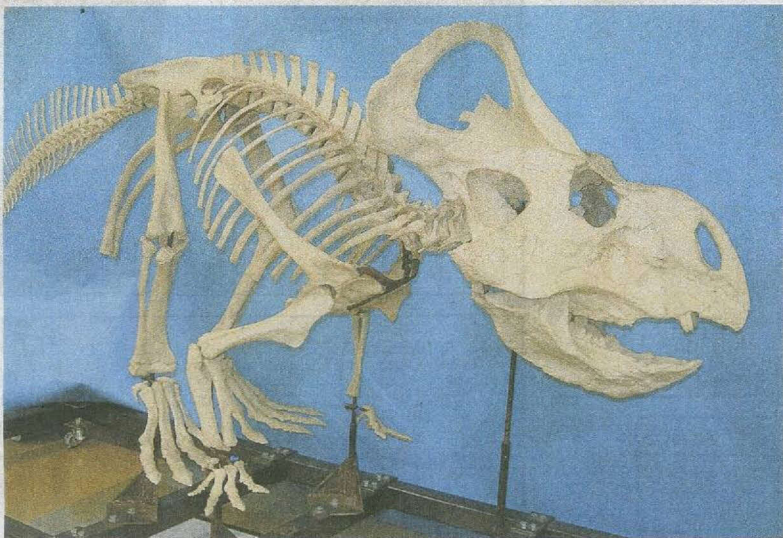


見つけよう



プロトケラトプスの全身骨格 (岡山理科大学に展示されています)

モンゴルと日本の共同調査が始まってから今年で24年。この間の調査で大小(こ)というか赤ちゃんから大人までというか(合)わせてなんと30体以上の全身骨格が見つかったのがプロトケラトプスです。名前は「最初の角のある顔」(角のある顔を持つ仲間)の祖先(せんぞ)という意味なのですが、

その頭にはっきりした角はありません。変な話ですがみんな大好きな「トリケラトプス」を含む全ての「角竜」の共通点は、上あごの一番前に「嘴骨」という、上のくちばしの「芯」にあたる骨があることです。プロトケラトプスは角はないけれどこの特徴を持つ恐竜の原始的な種類です。

恐竜調査隊が行く

岡山理科大学教授・石垣忍



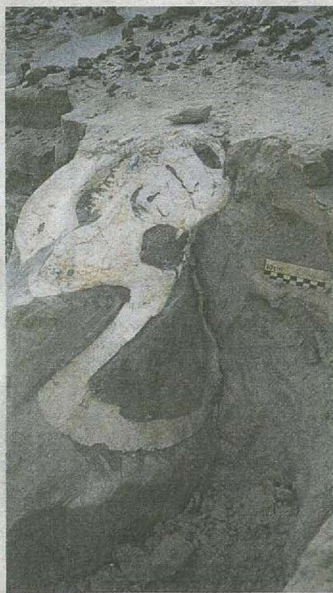
かみつかれたら大変 プロトケラトプス

小さな体に強力な武器



プロトケラトプスの化石が100体以上発見されているゴビ砂漠のツグリキンシレでの発掘風景 = 林原モンゴル共同調査隊撮影

砂からはい出ようと、真上を見てもがいたまま死んだプロトケラトプス? こんな不思議な化石がゴビ砂漠から見つかります!! 林原モンゴル共同調査隊撮影



さて、このくちばし、私は初めて見たときには「カミツキカメラ」を思い出しました。大きな頭で、顎を閉じる筋肉はとも大きいですから、これにかみつかれたらこんでもないことになったでしょう。ただかみつかげばいいの小さな植物食恐竜にとつてかみつく力は強力な武器でした。実はこのプロトケラトプスが、ウェロキラプトルという見るからにどう猛(もう)そうな肉食恐竜にかみついて、取っ組み合ったまま死んでしまった化石もモンゴルから見つかっています。顔つきは優(やさ)しそうですが、本気になると怖い恐竜だったかもしれませぬ。

豆知識

プロトケラトプスの頭の骨を前から見たところでは、私の左手が通っているところに、顎を閉じる筋肉が入っていました。すごい太さですよ! 私はプロトケラトプスとライオンが闘(たたか)ったら絶対プロトケラトプスが勝つと思います。

